

コロナ禍で取り組んだ クラウドファンディングの実際

令和3年6月1日

全国博物館長会議 フォーラム資料

山種美術館

館長 山崎妙子

1. 山種美術館のご紹介

山崎種二(山種証券[現SMBC日興証券]創業者)のコレクションをもとに、昭和41(1966)年に日本初の日本画専門美術館として開館。今年で開館55周年を迎える。

○所蔵作品について

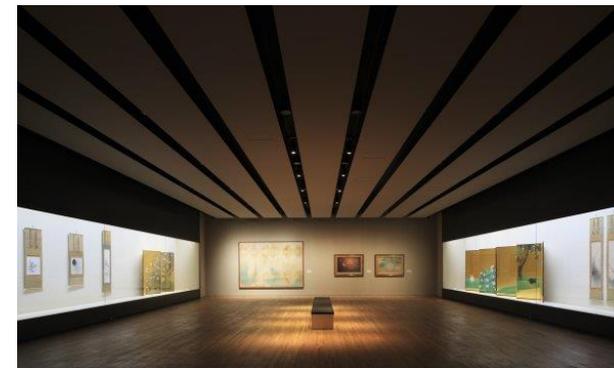
横山大観、川合玉堂、速水御舟、奥村土牛など近代・現代を代表する日本画家たちの作品が中心。琳派や浮世絵といった江戸時代の作品もある。重要文化財(6点)や重要美術品を含む、約1800点を所蔵。

○展覧会について

・年5~6回の展覧会を開催。

○来館者数

・年間約16~18万人(コロナ禍以前)



展示室



↑横山大観《心神》



↑速水御舟
《炎舞》【重要文化財】

2. 休館からクラウドファンディングにいたるまで

2020年4月4日(土)から臨時休館し、7月18日(土)に再開。

- ・休館中の取り組み:

山種美術館の作品が楽しめるコンテンツ
「おうちで日本画」を開始

→ 図録のオンライン販売、オンライン会議用背景の配信などを展開。
当館の活動の周知広報にはなるが、収益には繋がらない。



- ・来館者の推移:

2020年3月～8月で前年同期比較で9割減。

→ 入館料収入が減少し、入館料以外の収入を工夫しなければならない状況。

3. クラウドファンディングの概要

- 実施期間: 2020年10月7日(水)～12月14日(月) 68日間
- 目標金額: 500万円(開始時)

The screenshot shows a crowdfunding page on the READYFOR platform. At the top, there is a search bar and navigation links for 'クラウドファンディングとは', 'はじめる', 'さがす', and 'ログイン・登録'. Below the search bar, there are tags for '寄付金控除型', '#関東', '#東京都', '#アート', '#伝統文化', '#絵画・イラスト', '#寄付金控除型', '#歴史', and '#新型コロナウイルス'. The main title of the campaign is '山種美術館 | コロナ禍を越え、日本画を未来に伝える活動にご支援を'. The campaign is by '山種美術館'. The main image features a kitten with Japanese text: '初成立', '初のクラウドファンディング', 'たくさんのご支援・応援を', and '本当にありがとうございました!'. To the right of the kitten is the logo of '山種美術館 Yamatae Museum of Art'. Further right is a vertical image of a traditional Japanese ink wash painting. On the right side of the page, the funding progress is shown: '寄付総額 13,109,000円' and '目標金額 5,000,000円'. Below this, it says '寄付者 872人' and '募集終了日 2020年12月14日'. A red box contains the message 'プロジェクトは成立しました!'. At the bottom, there are social sharing buttons for 'シェア', 'ツイート', 'LINEで送る', and 'noteで書く'.

4. 募集開始にいたるまで

- 2020年 8月中旬 運営会社にコンタクトをとる。
- 8月下旬 ご担当者にヒヤリング。
- 8月末 顔合わせ。

運営会社 (READYFOR) の利用プラン

サポート内容

S シンプルプラン
手数料
12% (運営手数料7% + 決済手数料5%) + 税

必要なサービスをお安く！

プラットフォーム機能一式と担当者によるメールサポートを揃えた、ベーシックなプランです。クラウドファンディング成功のための知見を凝縮したノウハウ集もご用意しているため、知識や経験を問わず、どなたでも安心してご利用いただけます。

F フルサポートプラン
手数料※1
17% (運営手数料12% + 決済手数料5%) + 税

プロフェッショナルが伴走！

クラウドファンディングのプロである“キュレーター”が、専任担当者として準備～終了まで伴走します。これまでの知見を活かし目的に合わせたクラウドファンディングの活用方法をアドバイスします。知識や経験を問わず、どなたでも安心してご利用いただけます。

- ・ 専任担当者による準備～公開期間中の個別サポート
- ・ 円滑なプロジェクト進行のための全体スケジュールのご提案
- ・ 魅力を最大限に伝えるページ作成のアドバイス
- ・ 支援者のニーズに合わせたリターン設計のアドバイス
- ・ 充実のプラットフォーム機能（プロジェクトページ、新着情報、支援者とのメッセージ機能、支援者からの応援コメント機能、支援者情報管理機能等）
- ・ プロジェクト公開後の進捗が確認できるプロジェクト分析ツール機能

担当キュレーター：2名

5. 準備

2020年

9月初旬～ 準備開始。

- ①プロジェクトページ
- ②リターンの種類・内容
- ③契約
- ④周知広報

開始日：10月7日（約1ヶ月の準備で開始）

6. プロジェクトページの構成

- (1) 趣旨
- (2) 館長からのメッセージ
- (3) プロジェクト実行メンバーからのメッセージ
- (4) 各界からの応援メッセージ

6. プロジェクトページ (1) 趣旨(抜粋)

山種美術館は、1966（昭和41）年、日本で初めての日本画専門の美術館として開館しました。以来、約半世紀にわたって、近代・現代日本画を中心とした収集・研究・公開・普及につとめ、毎年たくさんのお客様をお迎えしてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、4月4日から7月18日まで、3ヶ月以上にわたる長期の臨時休館を経験することとなりました。再開後も、活動にはさまざまな制約があり、来館者の数は従来に比べ、はるかに少ない状況にあります。

そこで、このたび初めての試みとして、クラウドファンディングに挑戦いたします。

今まで当館では、外部からの寄附を募る制度や仕組みを持っていませんでした。今回の取り組みをきっかけに、**当館を大切に思ってくださいる方々からのご寄附を、運営資金の新たな柱として活用させていただけたら**と思っています。

6. プロジェクトページ (1) 趣旨(抜粋)

日本独特の自然や風土の中で、長いときをかけて磨かれてきた日本画は、日本固有の財産と言っても過言ではありません。

これからも、日本画の素晴らしさを国内外に広く発信し、未来に引き継いでいくための活動を続けていきますよう、皆様のご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ いただいたご寄附の使いみち

本プロジェクトを通していただいたご寄附は、期日までに集まった支援総額に応じて規模を決定し、美術館運営費用として大切に使用させていただきます。

運営費用内訳：

- 展覧会準備費（作品運搬、展示造作、展示作業、照明調整などの委託費）
- 展覧会運営費（展覧会運営に必要なオペレーションスタッフの人件費）
- 展覧会会場設備の維持・管理費（照明設備・空調設備・エレベーター等の保守・更新）

6. プロジェクトページ (2)館長からのメッセージ (抜粋)

日頃より山種美術館をご愛顧いただいている皆様、そして、臨時休館中に数多くの応援メッセージをお寄せくださいました皆様に、心より感謝申し上げます。

当館では、ご来館くださる皆様からの入館料収入を美術館運営の主要な財源としてまいりました。しかし、このたびのコロナ禍を機に、ご来館くださるお客様が大幅に少なくなったことにより、財源が不足する状況となっております。

当館は日本画専門の美術館として、永続的に日本文化を継承していきたいと考えています。そのためには、50年、100年という長い年月のスパンで、コレクションの研究、公開、保存、および建物の維持を続けていかななくてはなりません。

独立した小さな美術館が今後も生き残っていくには、自分たちのたゆまぬ努力に加え、応援する皆様にお力を貸していただくことがどうしても不可欠となっております。そこで、今回のクアンディングに挑戦することを決めました。 (抜粋)



6. プロジェクトページ (3)プロジェクト実行メンバーからのメッセージ

プロジェクト実行メンバーより



山下 裕二
(やました ゆうじ / 明治学院大学 教授)

私をはじめ山種美術館を訪ねたのは、40数年前、茅場町の山種証券ビルにあったころでした。その後、三番町に移転して間もなく、私は学芸部顧問に就任しました。館長の山崎妙子さん、学芸員とともに、さらにいまの広尾に移転する計画を進め、それを実現してからもう10年以上が経過しました。

顧問に就任して以来、私はこれまですべての展覧会を観てきましたが、それでもまだ、「え、こんな作品があったのか・・・」と驚かされることがしばしばあるのです。つまり、山種美術館は、いわゆる「蔵が深い」美術館なのです。つい最近開催された「竹内栖鳳《班猫》とアニマルパラダイス」展でも、よく知らなかった小村大雲の《東へ》という作品に瞠目しました。

いま、美術界はコロナ禍によって、未曾有の危機に見舞われています。展覧会は軒並み中止、延期。今後しばらくは、何十万も動員しようとする大規模な展覧会の開催は難しいでしょう。山種美術館の入館者も激減しています。それでも、スタッフのみなさんは、さまざまな工夫をしながら、みなさんに来館していただき、展覧会を楽しんでいただけるように懸命に努力しています。

どうぞ、この「蔵が深い」、つまりこれからも更に素晴らしい未知の作品を観ることができる美術館を応援してください。よろしくお願いいたします。

6. プロジェクトページ (4)各界からの応援メッセージ

各界からの応援メッセージはこちら



村上隆

Photo by Museum of Fine Arts, Boston
©2017 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.



千住博



安原成美



小橋めぐみ



遠山敦子



佐藤卓



中村剛士



とに～

©Shingo Kanagawa



京都絵美

7. リターンの種類と内容の決定

リターンの種類: 13種

- A スタダード応援コース(1万円)
- B 3000円お気持ち応援コース
- C 3万円お気持ち応援コース
- D ご自宅で日本画満喫コース(3万円)
- E 5万円お気持ち応援コース
- F 年間パスポート付コース(5万円)
- G 10万円お気持ち応援コース
- H 館内にお名前掲出権付コース(10万円)
- I 30万円お気持ち応援コース
- J 学芸員の解説による貸切鑑賞会付コース(30万円)
- K 50万円お気持ち応援コース
- L 館長(山崎妙子)の解説による貸切鑑賞会付コース(50万円)
- M 【企業様／団体様向け】ご協賛展覧会の広報物に貴社名記載コース(100万円)

8. 契約・周知広報

契約

周知広報

- ・当館Webサイト、公式SNS
- ・プレスリリース
- ・ネット上の拡散力の強いメディア（BTなど）や、インフルエンサーへの個別連絡。
- ・知人、関係者への個別連絡。
- ・館内にポスター掲示、チラシの配架。



山種美術館 「百花繚乱展」開催中
@yamatanemuseum

#山種美術館 では、初の試みとしてクラウドファンディングに挑戦いたします。

12月14日まで | 目標 500万円
readyfor.jp/projects/yamat...

今後はサポートして下さる皆様の応援を受けながら、新たなかたちで活動を展開していきたいと思っています。是非皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。



山種美術館
Yamane Museum of Art

コロナ禍を越え、
日本画を未来に伝える活動にご支援を

クラウドファンディング
挑戦中！

午後0:00 · 2020年10月7日 · Twitter Web App

||| ツイートアクティビティを表示

290 件のリツイート 9 件の引用ツイート 364 件のいいね

← SNSでの周知

9. 実施期間中の経過と取り組み

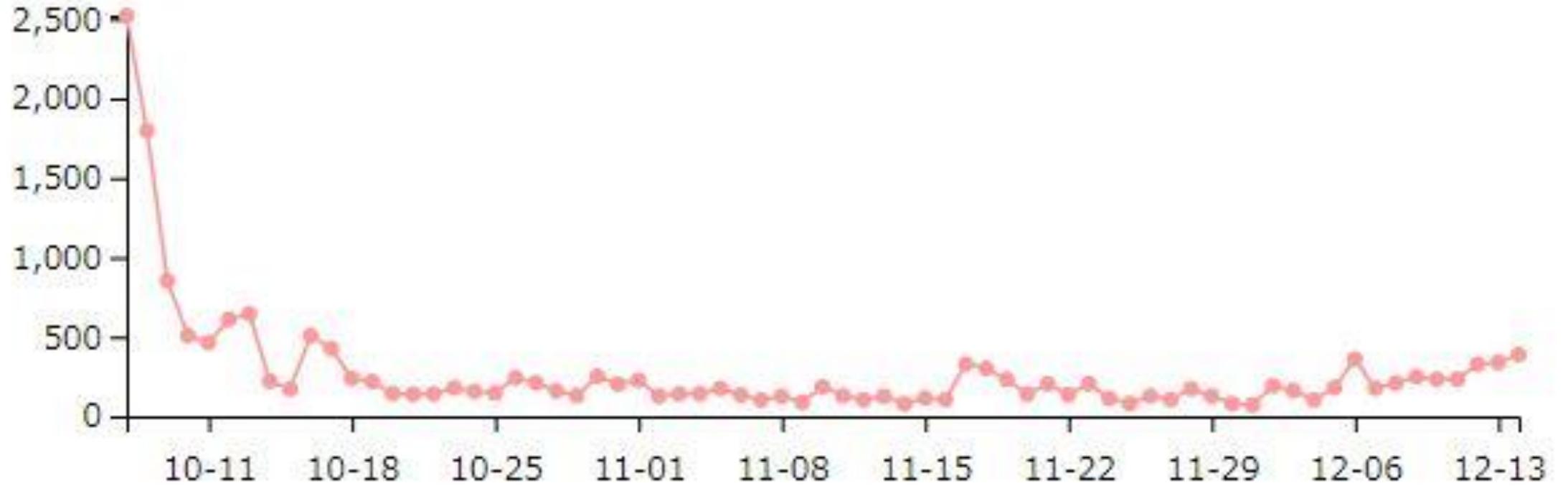
10月7日 募集開始
以後

- ・日々：申込状況のチェック。
- ・週2～3回：新着情報を発信。
- ・7～10日おき：運営会社との打ち合わせ。
- ・随時：支援者への御礼メッセージ、SNSでの情報発信。
- ・不定期：取材対応、支援者からの問い合わせ対応。
- ・ネクストゴール、サードゴールの検討および設定。
- ・終了間近はカウントダウンなどで継続した最終告知。

12月14日 23:00 受付終了

10.実施期間中の推移

訪問者数(人)



訪問者数を増やすためには、新着情報の更新が不可欠

10.実施期間中の推移



ネクストゴール
1000万と設定

サードゴールを
ご支援者数1000名と設定

新着情報を更新することにより、支援金が増加する。

11.結果と終了後の作業

・結果

寄附総額: 13,109,000円 / 寄附者数: 872人

・終了後の作業

2020年

12月15日 終了に伴う情報更新。
リターン(領収書等)送付の準備。

12月26日 リターン送付完了。

2021年

1月30日 リターンの一部としての
ご支援者様限定 オンラインギャラリートークの実施

12.所感

(1)ご来館者との新たなつながり、結びつきの形成

- ①美術館の従来からのご来館者が支援者へ。
- ②山種美術館を知らない方からもご支援。
- ③励ましのメッセージを多くいただいた。

(2)クラウドファンディング実施中は、職員全体の力を結集する必要がある。

(3)実施するまで、美術館のイメージを毀損するのではないかと懸念していたが、批判的なご意見は少なかった。

山種美術館の基本理念

山種美術館は「美術を通じた社会貢献」という創立者の理念を継承し、日本の自然や風土の中で磨かれてきた日本画の魅力を未来に引き継ぎ、人々に感動や発見、喜びや安らぎをもたらすことができる美術館を目指します。



山種美術館

Yamatane Museum of Art